[下野国分尼寺跡（下野市）]探訪レポート

ここは尼寺公園

この公園に下野国分尼寺跡がある

桜の名所になっているらしい

ここが下野国分尼寺跡

史跡　下野国分尼寺跡

史跡　下野国分尼寺跡

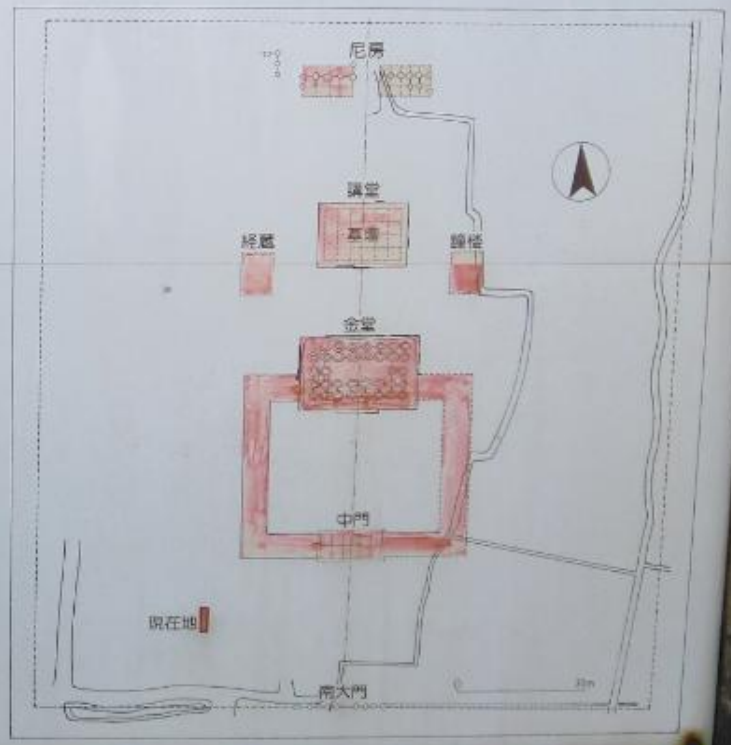
国分尼寺の建立は、奈良時代の天平13（741）年、聖武天皇が国家の平安を祈願し、国分寺建立の詔を発したことにはじまります。国分尼寺は国分寺と同様に国ごとに建てられた官立の寺院で、妙法蓮華経を根本の経典とし、10人の尼が置かれていました。

下野国分尼寺の伽藍跡は、昭和39年以来４回の発掘調査を行って、その大部分が確認されました。伽藍地の規模は、柵列や築地跡の一部が検出されたことにより、東西145.4m、南北167ｍに及ぶものであったと推定されています。主要な建物の配置は、奈良東大寺の様式を基本とし、南大門、中門、金堂、講堂が南北一直線上に並びますが、国分寺においてみられる塔は、尼寺には存在しません。

伽藍の中心で、本尊を安置した金堂は、間口７間、奥行四間の大きな建物で、床は石貼りになっており、瓦葺き、丹塗の壮厳なたたずまいを見せていたことが想像されます。

昭和40年4月9日　国指定

栃木県教育委員会



調査隊の補助員が立っている所は中門跡

中門跡の標柱

中門跡/後方に金堂跡が見える

回廊が回っている様子も見てとれる

中門跡と金堂跡（後方）を見る

中門跡の礎石を右手（東側）から見る

金堂跡（左手前方）とそこに取り付く回廊跡を見る

東側の回廊跡から金堂跡を見る（調査隊の補助員が立っている所が金堂跡）

金堂跡の標柱

金堂跡の礎石を右手（東側）から見る

正面は金堂跡後方の講堂跡

講堂跡の標柱

講堂跡の礎石を右手（東側）から見る

鐘楼跡

正面の辺りが僧坊跡

僧坊跡

僧坊跡辺りより手前から講堂跡、金堂跡、中門跡を見る

経蔵跡の標柱

手前の標柱が経蔵跡、その後方は講堂跡の標柱/右手遠方に鐘楼跡の標柱が見える

経蔵跡の標柱から金堂跡を見る

回廊跡（址）の標柱

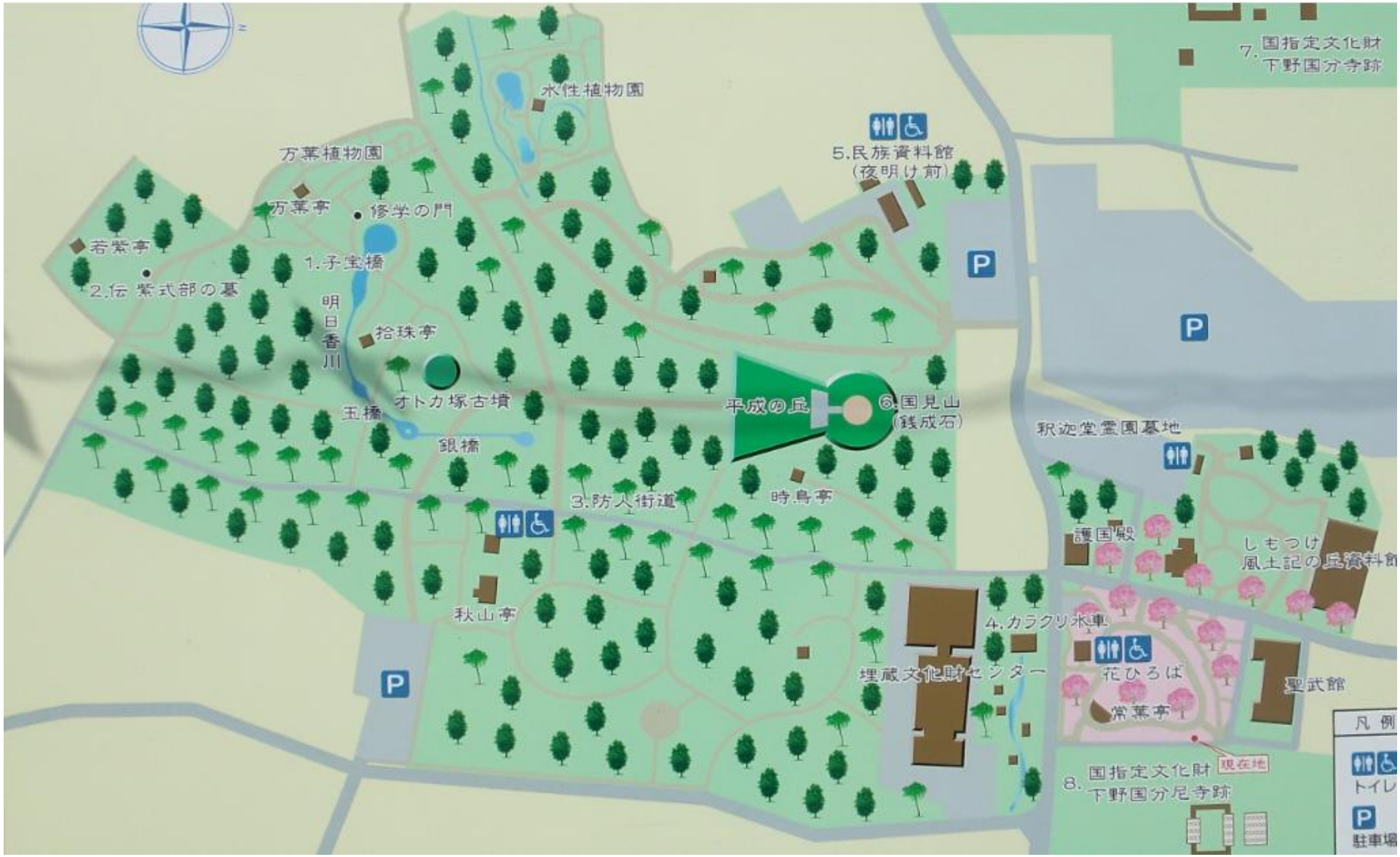
正面は栃木県埋蔵文化財センター

参考ホームページ

http://www.city.shimotsuke.lg.jp/hp/page000002500/hpg000002418.htm

http://orange.zero.jp/kkubota.bird/shimotuke.htm

天平の丘公園（下野市）


7.国指定文化財
下野国分寺跡
水性植物園
万葉植物園
5.民族資料館
(夜明け前)
万葉亭
修学の門
若紫亭
1.子宝橋
2.伝 紫式部の墓
明日香川
拾珠亭
オトカ塚古墳
玉橋
銀橋
平成の丘
6.国見山
(銭成石)
釈迦堂霊園墓地
3.防人街道
時鳥亭
護国殿
しもつけ
風土記の丘資料館
秋山亭
4.カラクリ水車
埋蔵文化財センター
花ひろば
聖武館
常葉亭
現在地
8.国指定文化財
下野国分尼寺跡
凡例
トイレ
駐車場

カラクリ
水車
国分寺町

公園内に進む

これは「平成の丘」/古墳ではない

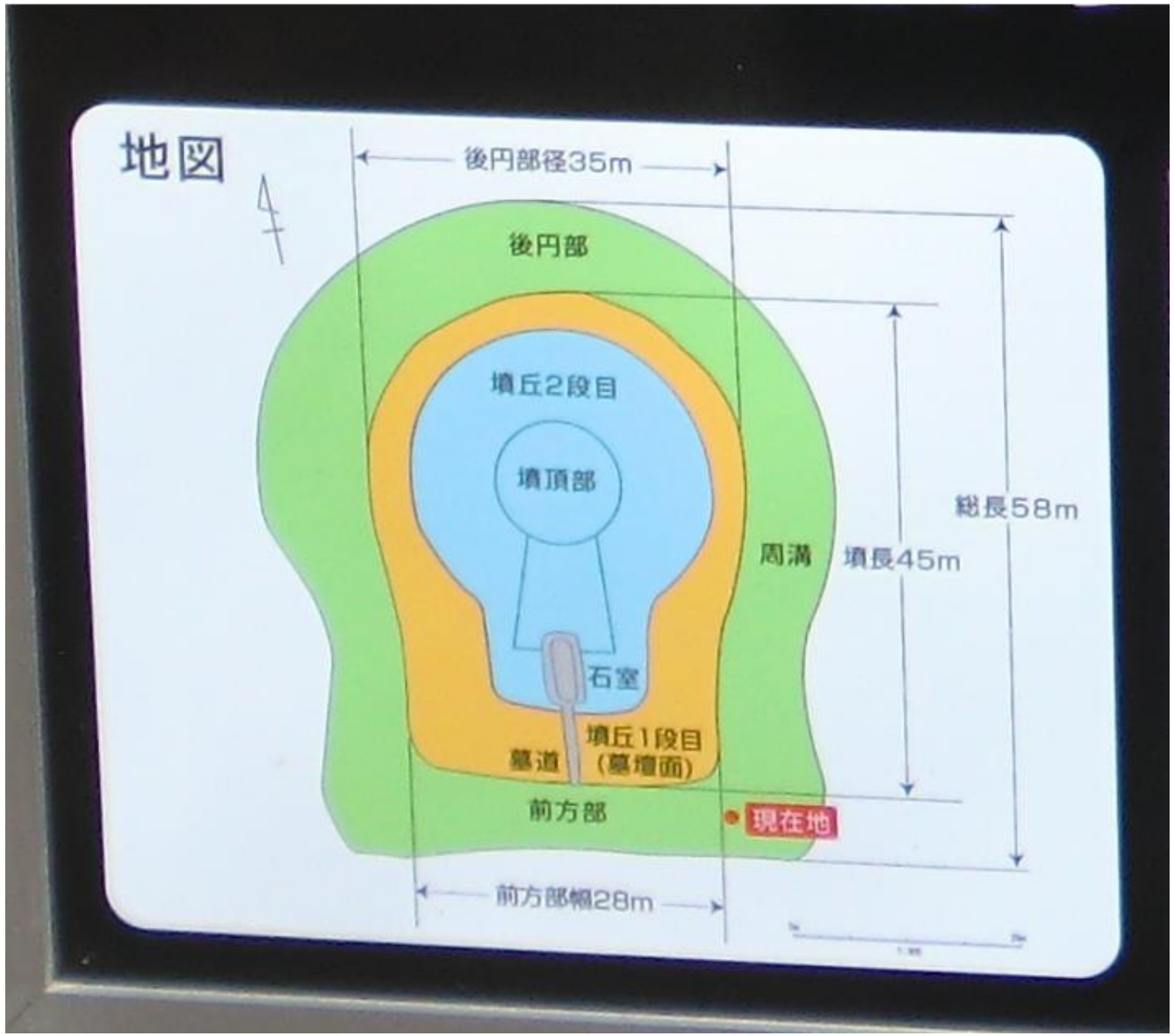
平成の丘 縁起
この地、西に急傾し、耕作便なく、雑木雑草の益なき荒れ地なりしが、よって、訪れる所、子孫に残さんと、古墳の形に整す
時、小金月見塚遺跡の発掘あり、進めて谷を埋め、山を盛り、頂上を月見山と呼び、名を万葉に学ぶ。
筑波の山より吸石を移し、麓にこの地より発掘したる五百有余個の古銭を植めて、銭石と呼ぶ。
月の十日に登れば心身すこやか、銭石にふれれば富貴の子孫に恵ぶと伝う。

更に進むと本物の古墳があった

正面がオトカ塚古墳

古墳時代後期の帆立貝形前方後円墳という

市指定史跡 オトカ塚古墳
オトカ塚古墳は、古墳時代後期に築造された総長58m(墳丘長約45m)、高さ約1.2mの帆立貝形前方後円墳です。後円部を北側に、前方部を南側に向けて墳丘は築造されています。
埋葬施設である横穴式石室は前方部南端に川原石を積み上げてつくられていました。
現在は埋め戻してありますが、 墳丘の周囲には幅約7～10m、深さ約1mの周溝が全周します。周溝の一部は現在の園路と重なっており、園路の下に保存されています。
出土した遺物などから6世紀後半に築造されたと考えられます。
地図
石室の壁
石室の様子(南側から)


地図
後円部径35m
後円部
墳丘2段目
墳頂部
総長58m
周溝
墳長45m
石室
墳丘1段目
(墓壇面)
墓道
前方部
現在地
前方部幅28m

伝紫式部の墓

五輪塔

紫式部の墓
むらさき しき ぶ
この塔は五輪の塔で鎌倉時代の様式であり、この地方の豪族が供養塔として建立したものと言われています。同じ様式の塔が数多く建立されたものと思われ、ここより約1km北にある国分寺（下野国分寺跡とは別）薬師堂のそばにもあります。はじめ姿川沿いにありましたが、明治初期にここに移されました。この付近は「紫」という地名であることから、源氏物語の作者である紫式部の墓と、言われるようになったと思われます。
環境庁・栃木県

「万葉植物園」とある

明日香川に架かる子宝橋

民俗資料館

「夜明け前」とある

天平の大鍋

地図
航空写真
しもつけ風土記
の丘資料館
下野国分尼
寺跡公園
下野
国分寺跡
紫
天平の
丘公園
18
琵琶塚古墳
斉藤組
摩利支天
塚古墳
Google
地図データ ©2012 ZENRIN - 利用